

# 議会改革特別委員会 会議録

開催年月日	令和4年3月9日(水)	場所	議会委員会室
案件	議会改革(議員定数)について		
出席委員	委員7名(水間委員長、石上副委員長、本間委員、佐藤委員、宇治委員、後藤委員、日里委員)		
欠席委員	—	事務局	井口・大津
委員外出席	黒岩議長・今副議長	傍聴者	2人
開会時刻	14時29分	実会議時間	0時間58分
		休憩時間	0時間33分
閉会時刻	16時00分	延会議時間	1時間31分
次回日程	未定		
要点記録	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>1. 議会改革(議員定数)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議員定数に関する市民意見については、全議員の協力により119件の意見が集約された。議員での情報共有を願う。</li> <li>本委員会が関わる日程については、本定例会(令和4年第1回定例会)中に具体的な議員定数について報告し、現行定数から変更が生じた場合、本定例会終了後に条例をはじめ、諸規定の整理を行いたい。</li> <li>前回委員会で会派へ持ち帰り協議された内容の報告は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ふらの令和の会：現状維持という意見もあったが、微減として16人が望ましいとの結論に至った。</li> <li>市民連合議員会：議論の多様性を踏まえ、現状維持の結論に至った。</li> <li>ふらの未来の会：市民アンケートは1人10件の集約ノルマを課した。その過程で得られたのは、議会改革の取り組みが住民福祉の向上という点に尽きるのだが、市民に伝わっていない。したがって、議員不要論に陥ると感じた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>もう一つは無投票ではいけないと言う声があった。</li> <li>これらを踏まえて会派では、削減という結論に至ったが、削減数は4人～2人と結論を得ることができなかった。</li> </ul> </li> <li>民主クラブ：現状維持と削減とに2分され、結論を得られなかった。仮に削減の場合は2人が妥当である。</li> </ul> </li> <li>各会派からの報告を受け、改めて委員相互で意見交換を行う。</li> <li>意見は、定数に関して、議会機能の維持、行政監視機能の維持、選挙戦に関する事、過去の合併による特殊性や地域性、議論の質の維持、常任委員会の数や委員数、市民から議会が見えない・何をしているかがわからない、地域の声を届けるためには単に人口だけの定数議論はどうかなど。</li> <li>これらの意見交換を踏まえ、会派ごとに議員定数の数を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ふらの令和の会：16人</li> <li>ふらの未来の会：14人</li> <li>市民連合議員会：18人(現状維持)</li> <li>民主クラブ：16人</li> </ul> </li> <li>上記の発表後、再度議論を行い、議員定数の選択肢は、現状維持の18人、2人減の16人の2点に絞り込まれたが、本委員会としての結論に至っていない。</li> <li>上記2案に対し、採決により結論を出すことでよろしいか。→了承。</li> <li>委員長を除き挙手採決の結果、2人減の16人が賛成多数となる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→確認・決定。</li> </ul> </li> </ul>		

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・本件の結果については、3月18日の本会議で中間報告する。→確認。</li><li>・なお、報告案については、委員長に一任とする。→確認。</li></ul> <p>2. その他 なし</p> |
|--|--|

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。 委員長 水間 健太